

## ご挨拶

17NSJ チャレンジサブキャンプ副サブキャンプチーフ  
静岡県連理事長 村松武博

人口 14,000 人の石川県珠洲市に、13,000 人のスカウト、スカウターが集まった。この数字だけでも、ジャンボリーというものが、すごい大会だということがお分かりだと思います。チャレンジサブキャンプでは、9 県連約 3,000 人の参加隊が生活をした。サブキャンプを運営するスタッフも、その 9 県連があたるシステムであった。参加隊と運営側が日頃からの顔見知りということが、期間中、とても有効に働いたと感じている。情報の伝達、意見のやり取りがとてもスムーズであった。会議の進行もスムーズであったし、配給も混乱なく実施できた。また、特筆すべきは、トイレ、シャワー室のきれいなことであった。そうじする側、使用する側が、お互いを尊重する精神が発揮されたものと思う。ブロックの各県連が、同じサブキャンプの中にいる各県連の参加隊を責任もって支援する方式は、とてもよかったと思う。また、今年の夏はとても暑かった。天気予報では「生命の危険な暑さなので、用事のない人は家の中にいるように。躊躇せずエアコンを使用するように。」との呼びかけがされていた。私の暮らしていたマーキーテントの中では 37℃、外の日なたでは 48℃が記録された。熱中症も心配されたが、大事に至らずに済んだのは何よりであった。日ごろの生活とは違った不自由なテント生活、日中は暑いし、虫もいるし、だけど、ジャンボリーは楽しかった、すごかった。次のジャンボリーにもまた参加するぞ、と思っていただけたらとてもうれしく思う。

17NSJ：第 17 回日本スカウトジャンボリー